

地域で支える 『認知症ケアについて考えよう』



2012年に認知症の人は400万人を超え、団塊の世代が75歳を迎える2025年には推定700万人以上になると言われています。対して認知症施策5か年計画（新オレンジプラン）の中では認知症の理解者である認知症サポーターの養成他、色々な認知症施策が進められようとしています。高槻荘でも大阪大学との認知症共同研究事業への参加や認知症ケア充実事業として施設内外に向けた啓発活動に取り組んできました。

この度、有識者の方をお招きし、認知症の人やその家族をどのように地域で支えていくかをテーマに地域向け講座を企画いたしましたので、ぜひ皆さんお誘いあわせの上ご参加ください。

日時	2016年2月28日(日) 13:30～15:30 (受付13:00より)
場所	今城塚公民館(2階大集会室) 高槻市郡家新町48-3
主催	特別養護老人ホーム高槻荘 認知症ケア充実事業委員会

第1部	基調講演 『認知症の行動学』	講師 佐藤 眞一教授
	13時35分～14時20分	大阪大学大学院教授/ 大阪府社会福祉事業団 OSJ研修・研究センター統括研究員
第2部	パネルディスカッション 『地域で支える認知症の人とその家族』	
	14時30分～15時30分	

◎講師プロフィール

佐藤 眞一 (さとう しんいち)

<現職>
大阪大学大学院 人間科学研究科 教授。
大阪府社会福祉事業団OSJ研修・研究センター 統括研究員を併任。
博士(医学)
<略歴>
東京都老人総合研究所研究員、
ドイツ・マックスプランク人口学研究所上級客員研究員、
明治学院大学教授等を経て、現職。
<役職>
前日本老年行動科学会会長、日本認知症ケア学会代議員、
日本老年精神医学会編集参代、
健康介護コンサルジュ協会理事長、日本色彩環境福祉協会理事、
福祉住環境アソシエーション理事など。
<主な著書>
「老いのこころ—加齢と成熟の発達心理学—」(有斐閣)
「認知症『不可解な行動』には理由(ワケ)がある」(ソフトバンク新書)
「後半生のこころの事典」(CCCメディアハウス)ほか多数

パネリスト

● 認知症・もの忘れ外来
おおにしクリニック
院長 大西 雅彦医師
<現職>
精神保健指定医、日本精神神経学会専門医
<略歴>
大阪医大卒。光愛病院で勤務し、
平成12年から認知症専門外来「老いとももの忘れ」担当
平成25年12月おおにしクリニック開院。
<主な著書>
よつ葉ブックレット3「老いと物忘れ」(関西よつ葉連絡会)



- 郡家地区民生児童委員長 前田 信子氏
- 川西地区福祉委員長 若谷 恭子氏
- 郡家地域包括支援センター 管理者 徳留 規子氏
- 特別養護老人ホーム高槻荘 荘長 大西 智之氏

参加をご希望の方は下記もしくは裏面 F A X、Emailにてお申込みください。

TEL 072-682-6652 Email takatuki-jim@tcn.zaq.ne.jp

※お電話での受付は平日の9:15～18:00になります。

※会場の都合上、参加定員を100名とさせていただきます。定員を満了次第、受付を終了させていただきますのでご了承ください。

特別養護老人ホーム高槻荘 担当：嵯峨・坂下